

Medical News

基本理念

私達は、患者様とその御家族の立場に立った医療の推進に努めます

新型コロナへの対応

院長 細川 等

冬の到来と共に新型コロナの第3波が押し寄せ、私たちは昨年までとは全く違う厳しい環境の中で、この難局を超えて行かなければなりません。

本年9月、当院において複数の新型コロナウイルス感染者が出た際には、皆様に大変なご心配とご迷惑、そしてご不便をおかけした事を改めてお詫び申し上げます。

当院では、感染発生当初の緊急事態を何とか乗り切っ

た後、厳重な感染管理を行ないながら、診療機能の回復に努めてまいりました。

今回は、新型コロナ感染症の経験によって学んだことや、当院における感染症対策のあり方について、市原典子副院長と東條泰典統括診療部長から報告させて頂きますので、今後も引き続きご指導を賜りたく存じますと共に、何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍の3ヶ月を振り返って

副院長 市原 典子

今年も残すところあとわずかとなりましたが、皆様にはますますご清祥のことと存じます。私は本年4月に副院長を拝命いたしました。今年はコロナ禍の折、例年行ってきた交流会「リアンたかまつMC」を開催することもできず各種会合や挨拶回りも自粛しており、ご挨拶がすっかり遅くなってしまい大変失礼いたしました。私は平成5年から今に至るまで当院で神経難病診療に携わっておりますが、長く同じところに留まっても淀むことなく新たな挑戦をモットーに勤めてまいりました。まだまだ力不足ではありますが院長の片腕になれるよう、少しずつでも向上していければと思っております。

9月には院内で新型コロナウイルス感染の発生があり、副院長としての最初の試練となりました。皆様にも大変なご心配とご迷惑をおかけすることになり誠に申し訳ございませんでした。当院は新型コロナ受入れ病院ではありませんが、院内にウイルスが持ち込まれないよう感染対策をおこなってまいりました。しかし実際にはウイルスが入り込み、さらに院内で感染が起きたことは皆様ご存じの通りです。入院患者様の診療継続と感染の収束を何よりも優先に対処する中で、一時外来診療を電話診療のみとし、入・退院を全面ストップせざるを得ませんでした。職員が自宅に帰れない、家族が仕事に行けない、子供が学校に行けない等々の社会的影響も大きく、そのことによる職員の物理的・精

神的負担が業務に大きく影響することは想定外でした。日々状況が変わっていく中で、患者様・ご家族への対応、職員への対応、非常勤の先生方や関連病院への対応、情報公開を含めた対外的な対応に追われながら、何が不足していたのか、どうすれば二度とこのような事が起こらずにすむのか皆で懸命に考える中で「100%ウイルスをシャットアウトする方法はない」と実感しつつも「入り込む可能性を低くするための対策、いち早く見つけ出し院内感染を最低限に抑えるための対策はまだある」と気付くこともできました。そして新たにCOVID-19を念頭に置いた感染対策を作り上げ再出発いたしました。痛みを伴う貴重な経験を活かし以前より感染リスクを下げる事ができたと考えております。

3か月が過ぎようとする今ようやく落ち着きを取り戻し、激減した患者数も皆様のおかげで少しずつ回復しつつあります。今後も香川県の難病医療支援ネットワークにおける分野別拠点病院（神経筋）としての難病医療、結核を含む呼吸器疾患に関する専門医療、障害者や高齢者を対象とし、ポストアキュートを主軸とした一般医療を3本柱に、今まで以上に安全・安心な医療を提供してまいりたいと思っております。コロナ禍の厳しい情勢ではありますが、目標を見失わず香川県の医療に貢献できるよう着実に歩んでいきたいと思っておりますので、皆様にはご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

COVID-19院内発生を経験して 統括診療部長 東條 泰典

師走を迎え、皆様におかれましてはますますご清栄のことと存じます。本年4月に統括診療部長、地域連携室長を拝命いたしました、呼吸器内科の東條と申します。本来なら各先生方に直接ご挨拶に伺うべきところですが、昨今のコロナ禍により書面でのご挨拶にさせていただきます。至らない面もあるかもしれませんが、院長、副院長とともに病院をより良い方向に向けられるよう努力する所存です。

さて、皆様もご存じのように本年9月、当院でCOVID-19患者が複数発生いたしました。そのため皆様にも大変なご心配とご迷惑をおかけしてしまいました。一時は外来診療を電話診療に切り替え、入退院をストップし、COVID-19の制御とともにさらなる感染対策体制

の構築、スタッフへのフォローや病院内外への情報発信など、その影響は考えていたより広範囲で長期に及びました。感染の収束とともに感染対策や患者受け入れ体制を整え、外来診療や入院に関しても徐々に再開しているところです。一刻も早く元の状態に戻せるように努力する所存です。皆様におかれましては、なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

COVID-19発生当時から、感染対策にはかなり気を付けておりましたが、今回のCOVID-19院内発生を経験して、改めてCOVID-19をトリアージして持ち込みを防ぐことや感染対策、発生後の対応の困難さを痛感し、感染対策体制を変更いたしました。以下にCOVID-19対策初期と現在の感染対策体制の比較を例示いたします。

COVID-19 院内感染対策 Before & After

病院入口

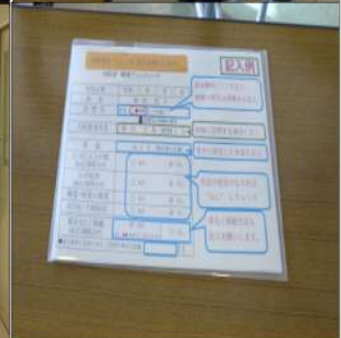
病院入口

訪問者カード記載

Before



After



病棟入口

病棟入口

訪問者カード

<COVID-19対策初期>

- ・入口に注意喚起ポスター掲示
- ・訪問者に各窓口で健康チェック
- ・訪問者に県外移動や接触状況問診
- ・面会制限（市中感染状況をみながら）

<現在のCOVID-19感染対策>

- ・訪問者の出入り口を一ヶ所に
- ・職員の出入り口は専用出入り口に
- ・すべての訪問者にサーマルカメラで体温チェック
- ・入口で訪問者カード記載（トリアージ強化）
- ・面会は全面禁止
- ・リモート面会準備と開始（11月～12月）

COVID-19 院内感染対策 After & Plus



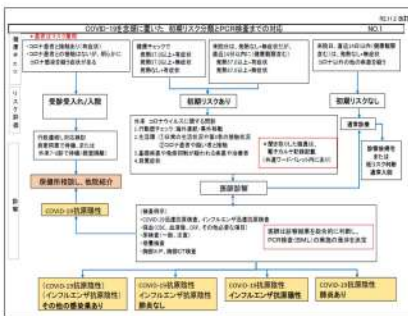
<COVID-19対策初期>

- ・患者待合の密を防ぐ
- ・外来受付などに飛沫感染防止衝立
- ・職員のマスク着用
- ・職員の健康チェック
- ・不要不急の県外移動自粛
- ・多人数の会食自粛
- ・食事休憩は感染対策をした休憩室で
- ・COVID-19の流行状況を常に発信

<現在のCOVID-19感染対策>

- 対策初期に追加して
- ・患者を含むユニバーサルマスキング徹底
 - ・定期清掃の回数増加と徹底
 - ・発熱患者トリアージ強化
 - ・感染(疑い)者用車椅子の導入
 - ・換気の指標にCO2モニター導入
 - ・県外移動の際届出を義務付ける

COVID-19スクリーニングフロー



陰圧装置付き個室



検査時の感染対策強化



<現在のCOVID-19感染対策>

- ・COVID-19感染対策マニュアルの改訂
- ・「外来患者」「入院予定患者」「入院中の患者」にCOVID-19スクリーニングフロー整備
- ・陰圧管理できる病床を追加整備(疑似症に備えて)
- ・発生時のシミュレーション実施
- ・検査時の感染対策強化
- ・全職員を対象にPPEの着脱について再度教育

PPE装着マニュアル

		個人防護具(No.1)						R2.1.28
		必要なPPE(例)						
キャップ							(O)	
ゴーグル/フェイスシールド		○					○	
フェイスシールド		△					△	
ガウン(長袖)			○				○	
エプロン(半袖)			○	○			○	
マスク(N95)		(O)						
マスク(ワージカル)		○	○	○	○	○	○	
手袋		○	○	○	○	○	○	
写真								
更衣・ケア		採血 血圧測定 顔マスク 点検	呼吸器症状の診察 インフルエンザ流行 時の診察	問診・採血・PESD等 理髪 オムツ交換時	嘔吐物・排泄物処理 等	汚染リネン交換	口腔ケア 口腔・気管内吸引 カニューレ交換 人工呼吸器管理	病室及び病室外 シトルーム前 キャップ(4)

ご紹介頂く際の感染対策として

先生方に安心して患者様をご紹介して頂くために十分な感染対策を実施しておりますが受診までの間に患者様へ以下の対策のご協力をお願いしております。

- ・原則として、受診前2週間の健康チェックの実施とその記録の提出。
- ・2週間以内の受診の場合は、ご予約頂いた日からの健康チェックの実施。
- ・2週間以内の県外移動や感染流行地域での滞在歴のある場合は、ご連絡頂きますようご説明下さい。
- ・受診時の付き添いは1名までとしております。
- ・付き添いの方を含め、受診当日に発熱や風邪症状、味覚・嗅覚障害などがある場合は来院せずにお電話頂きますようご説明下さい。

感染防止対策にご協力下さいますようお願い致します

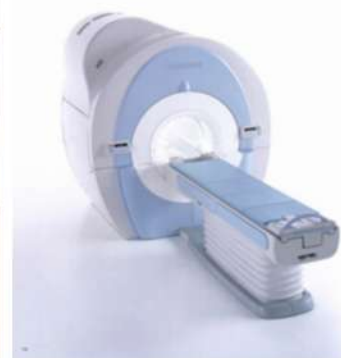
画像診断検査のご案内

当院では先生方からのご紹介による、MRIやCT等の画像診断機器の検査予約を行なっております。MRI、CT共にご紹介頂いた当日でも検査が可能な予約枠を設けております。

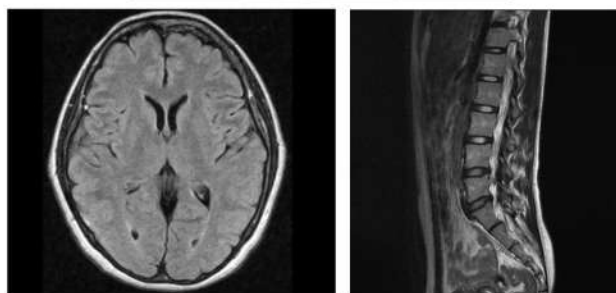
検査結果は、放射線科医の所見と共にご紹介頂きました先生へ1週間以内にお知らせ致します。また、撮影した検査画像はその場で患者様にお渡しすることもできます。



64列MDCT 東芝Aqilion64



1.5T EXCELART Vantage Atlas



十分な感染対策の下

MR I・CT検査を行っています

地域医療連携室までご連絡下さい

地域医療連携室直通

TEL : 087-841-2162

FAX : 087-841-2178



独立行政法人 国立病院機構
高松医療センター
〒761-0193
香川県高松市新田町乙8
TEL:087-841-2146 FAX:087-841-2178
URL:<http://www.takamatsu-mc.jp/>



発行責任者: 病院長 細川 等 編集責任者: 地域医療連携室